

# 致知BOOKWEB

本物の生き方に出逢う読書のすすめ

www.chichi-book.com



- 好評シリーズ Popular Serie
- 安岡正篤シリーズ Masahiro Yasuoka Series
- 森信三シリーズ Shinzo Mori Series
- 渡部昇一シリーズ Shouchi Watanabe Series
- 生き方/人生/教育 Life, Education
- 経営/ビジネス Management, Business
- 歴史/人物/古典 History, person, classic

致知BOOK WEB > 今日の「一日一言」

RSS配信中:

## 今日の一日一言

致知出版社の大好評『一日一言』シリーズから、毎日の心の栄養となる、今日の「一日一言」をお届けします。

### 利益を還元する 2009年07月22日(水曜日)



**益(えき)は、上を損して下を益す。民説(よここ)ぶこと益(かぎ)りなし。**  
**〈風雷益(ふうらいえき)〉**

風雷益(ふうらいえき)の卦(か)は山沢損(さんたくそん)の卦(か)と「損益(そんえき)」で一對になり、経済の基本ともいべき循環の法則を学ぶことができる。  
 山沢損の卦は、民が質素儉約して国益をもたらす。これに対して風雷益の卦は、国が民を助けて富ませようとする。民は喜び、その結果、国も民も限りなく利益を生ずる。  
 「能(よ)く損すれば即ち益す」という言葉があるが、利益を還元しない国家、会社組織はいずれ倒れることになる。

### 損して得をとる 2009年07月21日(火曜日)



**損(そん)は、下(しも)を損(そん)して上(かみ)に益(ま)し、その道(みち)上行(じょうこう)す。**  
**〈山沢損(さんたくそん)〉**

山沢損(さんたくそん)の「損」は損する、減らすこと。  
 何のために損をするのかといえば、「その道に上行する」自らのステップアップのためである。この損は自分の先行きに投資することと考えればよい。  
 資格を取得するために学費を払って勉強する。あるいは、出資が多くても良い仕事を取引先に利益をもたらす、いずれ相応の利益を得るように努力する。  
 いずれも上昇のための「損」である。

### 道を知らず 2009年07月20日(月曜日)



**仁者(じんじゃ)はこれを見てこれを仁(じん)と謂(い)い、知者(ちしゃ)はこれを見てこれを知(ち)と謂(い)い、百姓(ひやくせい)は日に用いて知らず。故(ゆえ)に君子(くんし)の道(みち)は鮮(せん)すくなし。**  
**〈繫辭(けいじ)上(じょう)伝(でん)けい(けい)じ(じょう)でん〉**

「これ」とは一陰一陽(いちいんいちよう)の道。一陰一陽の成す道は中庸(ちゅうよう)である。仁者はそれを仁愛(じんあい)の道といい、知者は智慧(ちえ)の道という。  
 優れた識者でも、とかく自分の視点の一端に偏(かたよ)ってしまう。また一般大衆は日常、無意識に陰陽の理(ことわり)を用いて生きているが、それが何かを知らない。それ故(ゆえ)、道全体を明確に把握して用いる者は少ないのである。

### リーダーと組織 2009年07月19日(日曜日)



**陽卦(ようか)は陰(いん)多く、陰卦(いんか)は陽(よう)多し。**  
**〈繫辭(けいじ)下(か)伝(でん)けい(けい)じ(か)でん〉**

優れた能力や技術を持つ一人のリーダー(陽)には、その力に頼り従う人々(陰)が集まる。また、人を育てる包容力のあるリーダー(陰)には、優れた能力の人々(陽)が集まる。  
 すべての組織、集団の中では少数の者が中心勢力となって、多数の者を指導することで組織が成り立ち、バランスが保たれる。  
 しかし、指導者が多くなる時は争いが起こる。

### 耳目聡明(じもくそうめい) 2009年07月18日(土曜日)



**巽(そん)にして耳目聡明(じもくそうめい)なり。**  
**〈火風鼎(かふうてい)〉**

火風鼎(かふうてい)の「鼎(かなえ)」は、天への供物を煮炊(にた)きする大鍋である。重要な祭器であり、古代中国では国威を表す象徴であった。そこから統治者の実力や国家権威を疑うことを「鼎(かなえ)の軽重(けいちよう)を問う」というようになった。  
 鼎は王が賢人に慶(きょう)する際にも用いられた。  
 賢人が多く集まれば鼎は重く大きくなる。  
 「巽(そん)」は従順、謙虚。リーダーが謙虚に賢人の意見に耳を傾け、「耳目聡明(じもくそうめい)」であれば、国の権威は保たれ、鼎の軽重を問われることはない。

### 疾風迅雷(しっふうじんらい) 2009年07月17日(金曜日)



**風雷(ふうらい)は益(えき)なり。君子(くんし)もって善(ぜん)を見ればすなわち遷(うつ)り、過(あやま)ちあればすなわち改(あらた)む。**  
**〈風雷益(ふうらいえき)〉**

激しく吹く風と轟(とどろ)く雷。これに倣(なら)って、人の善い所を見たら風のように速やかに移り学び、自分に過失があったなら、雷のように決行して改めよ、と教えている。  
 それは自分だけの益に止まらず、他人にも益をもたらすことになる。

### 苦しみを楽しむ 2009年07月16日(木曜日)



**険(けん)の時用(じよう)大(だい)なる哉(かな)。**  
**〈坎(かん)為(み)水(すい)かん(すい)〉**

坎(かん)為(み)水(すい)の「坎」「水」は険難・苦難を表す。壮絶な険難が度重なる時である。  
 険難という時は用い難いが、あえて用いて学ぶことを「時用」という。これは人生において絶大な効用があると教えている。  
 孔子は『論語』の中で「知者は水を楽しむ」と説いている。「苦しみを楽しむ」など非常なる苦しみの渦中において考えられないが、逃げずに乗り越えた後に振り返れば、あの苦難は大いなる時であったとさえ思える、と易経はいうのである。

まぐまぐ殿堂入り  
**人間力・仕事力が  
 確実にアップする**  
 致知出版社  
 Officialメルマガ

登録

書籍検索

- ▶ カテゴリーインデックス
- ▶ 著者名インデックス
- ▶ 書籍名インデックス

検索

今月の月刊『致知』  
 8月号特集  
**「感奮(かんぷん)興起(きょうき)」**

特集「感奮興起」◎対談◎師弟感奮興起物語「世界の王」はこうしてつづられた荒川博(日本サッカー協会副会長)&王貞治(福岡ソフトバンクホークス球団会長)

[詳細はこちら](#)

SPECIAL WEB SITE

chichi-yasuoka.com  
 安岡正篤先生に関するウェブサイトです

昇一塾  
 渡部昇一ファン倶楽部